



女性に対する暴力根絶の
ためのシンボルマーク

男女間における暴力に関する調査 報告書

平成 30 年 3 月

内閣府男女共同参画局

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的	3
2 調査項目	3
3 調査対象	3
4 調査時期	3
5 調査方法	3
6 調査実施委託機関	3
7 回収結果	4
8 回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
(3) 職業	6
(4) 子どもの有無	8
(5) 年間収入	9
(6) 最終学歴	9
(7) 未既婚	10
(8) 交際相手の有無	11
9 この報告書を読む際の注意	12
II 調査結果の概要	13
1 配偶者等からの暴力に関する認知度	15
(1) 暴力と認識される行為	15
(2) 暴力にあたらな場合があると思う理由	18
(3) DV防止法の認知度	19
(4) 相談窓口の周知度	21
2 配偶者からの暴力の被害経験	23
(1) これまでの配偶者からの暴力の被害経験の有無	23
(2) 過去1年以内の配偶者からの暴力の被害経験の有無	26
(3) 生活上の変化	29
(4) 配偶者からの暴力の相談経験	31
(5) 相談しなかった理由	33
(6) 配偶者から被害を受けたときの行動	34
(7) 配偶者と別れなかった理由	35
(8) 子供が原因で別れなかった理由	36
(9) 命の危険を感じた経験	37
(10) 子供の被害経験	38

3	交際相手からの暴力の被害経験	39
	(1) 交際相手からの暴力の被害経験	39
	(2) 生活上の変化	44
	(3) 交際相手からの暴力の相談経験	46
	(4) 相談しなかった理由	48
	(5) 交際相手から被害を受けたときの行動	49
	(6) 交際相手と別れなかった理由	50
	(7) 命の危険を感じた経験	51
4	特定の相手からの執拗なつきまとい等の被害経験	52
	(1) 特定の相手からの執拗なつきまとい等の被害経験の有無	52
	(2) 電子メールやインターネットなどによる被害経験	59
	(3) 加害者との関係	61
	(4) 生活上の変化	62
	(5) 特定の相手からの執拗なつきまとい等の被害の相談経験	64
	(6) 相談しなかった理由	66
	(7) 命の危険を感じた経験	67
5	無理やりに性交等をされた被害経験	68
	(1) 無理やりに性交等をされた被害経験の有無	68
	(2) 加害者との関係	70
	(3) 被害にあった時期	72
	(4) 生活上の変化	74
	(5) 無理やりに性交等をされた被害の相談経験	76
	(6) 相談しなかった理由	78
III	使用した調査票（単純集計結果）	79
IV	集計結果（実数）	101